第四章

実施スケジュール及び 進捗管理

1 重点施策及びプロジェクトの実施スケジュール

産業イノベーションの創出活動促進のための重点施策及び産業イノベーション創出型プロジェクトの主な取組のスケジュールは、次のとおりとする。

(1) 産業イノベーションの創出活動促進のための重点施策

重点施策	2018 年度 2019 年度 2020 年度 2021 年度 2022 年度
4	●「目利き」の実施
1 産業イノベーション創出 研究開発支援	●技術開発助成の実施
	●国際的産学官連携の推進
2 AI・IoT等先端技術 活用型新事業創出支援	●デバイス開発センター設置
	●研究開発プロジェクトの実施化
	●基盤技術の強化
3	●技術提案の強化
課題解決型企業群形成支援	● A I · I o T 利活用促進
	● ● 消費者二十ズ調査の実施
4	●産業支援機関による製品開発支援
地域資源活用支援	●ブランドカ向上、海外対応支援
5	●県内企業の成長・発展につながる分野・市場の把握
マーケティングカ強化支援	●新たな製品・サービスの提案や売り込み促進
6	●新たな産学官連携 枠組みの設置検討 ●事業化検討・実施 ●事業の効果検証
6 産業人材育成支援	
	●重点施策の実施(※2020 年研修情報サイト改良予定)
7 産業人材確保支援	
	●新規学卒者の県内就職促進、専門人材の誘致、働き方改革の推進
8 起業・スタートアップ支援	●イノベーションハブの機能・体制検討
	●設計・施設整備 ●イノベーションハブ設置
	●ワンストップ創業相談、金融・税制・技術支援
9 産業集積及び投資促進	
	●戦略的な企業誘致・投資促進、本社・研究所等の誘致促進
Ĺ	

(2) 産業イノベーション創出型プロジェクト

プロジェクト	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
(●支援体制構	————— 築			
1	●産業創出支	援			•
プレメディカルケア産業の	 ●個別事例フ	オローの実施			-
集積形成		●見本市への)出展		-
					P
2 材料・精密技術等の融合に	●アシストロ	ボット、人工	関節等の研究	開発プロジェ	フトの実施
よる健康・医療機器関連産	• ∀r + -> τπ σ	788 <i>2</i> 0 21	5 L D 40 C	目 中 人 世 の 名	/p `#
業の集積形成	●新たな研究	【開発 ノロンエ	クトの組成、	県内企業の参	単促進
3	●研究会の認	と 市場調査	●研究会活	動の実施	
東信州広域連携による次世 -	<u> </u>	●製品開発 <i>の</i>			
代自立支援機器・産業機器 製造業の集積形成	•		●実証試験	の実施	
		•	_ ●販記	路開拓の実施	
	 ●諏訪ブラン	ノドメディカル	100の設置	●研究会活動	かの実施
4				する研究開発の	
療・ヘルスケア機器分野へ		●生産体制の)構築		•
の参入企業の集積形成		●販路開拓の	実施		
	●スマート看	護・福祉研究	会活動		
5		上用品等の開発			-
よる日常生活動作支援産業	● 有 護・ 価 位	[用品寺の開発			-
の集積形成		上市・販路開持	石		
_	●地域舎口の	の分析・評価・タ	幼甲 全証		
6 健康増進と経済活性化に寄	●地域及品♥			\	
与する食品関連製造業の集		●新製品・装 	置の開発	域内消費促進	
積形成			●域外への	販路開拓、普及	拡大の推進
_	●有用発酵徘	数生物等の探索			
7 すんき等の発酵食品による		*食品の機能性		・ この関発	
地域のブランディングを通	● 元日				
じた産業の集積形成	i	●商品化、販	路開拓、普及	拡大の推進	-
8 住民参加型の健康・医療関 連産業の集積形成	●住民への普	及啓発等			
	●宝田	比検証等			
	● 天/// 1	●販路開排			
理性未切未慎形成					

プロジェクト	2018 年度 2019 年度 2020 年度 2021 年度 2022 年度
9 ヘルスツーリズムの活性化 に資する農商工連携型産業 の集積形成	●製品開発等推進プロジェクト1の企画、運営 (計画策定→製品開発·改良→販路開拓 等)
	●製品開発等推進プロジェクト2の企画、運営 (計画策定→製品開発·改良→販路開拓 等)
10 からだに優しい食品製造業 の集積形成	●支援体制の強化
	●研究開発・商品開発等に対する一貫支援
	●ブランディング活動の実施
11 地域資源を活用した発酵食 品・機能性食品産業の集積	●有用発酵微生物等の探索
	●発酵食品、機能性を活かした新商品の創出
形成	●販路開拓、普及拡大の推進
12	●寸法安定化の研究 → → → ト
信州カラマツ活用型産業の 集積形成	●寸法安定化材を活用した製品開発 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	● 駅崎開拓の美池
13	●水処理膜・プラント、浄水器等の事業化促進
「水浄化関連技術」の事業 化を通じた関連産業の集積 形成	●材料技術活用展開研究会の開催、県内企業の参画促進
14 ゼロエミッション生産技術 による環境調和型産業の集 積形成	●研究会の設置
	●エネルギ─消費量の可視化支援
	●センサ利用 I o T装置等の開発支援
15 高度科学的手法による未利 用バイオマス新規活用産業 の集積形成	●技術開発 (糖化率向上等)
	●実機レベルへのスケールアップ
	●希少糖の抽出・生産
16 航空機システム産業の集積 形成	●環境試験体制整備支援
	●航空機産業参入・中核企業育成支援
	●航空機システムの研究開発支援

第Ⅲ章 実施スケジュール及び進捗管理

2 進捗管理

産業イノベーションの創出活動促進のための重点施策及び産業イノベーション創出型プロジェクトを着実に推進するため、重点施策及びプロジェクト毎に適時的確に進捗管理を実施する。

また、長野県中小企業振興審議会においては、重点施策及びプロジェクトの取組を含む、本プラン全体の進捗状況を把握・検証し、経済社会の環境変化も踏まえ、必要に応じてプランの見直しを行うとともに、新たな施策展開も取り入れていく。